

「まなびの広場」は那須教育事務所ホームページに掲載されます。
<http://www.pref.tochigi.lg.jp/system/desaki/desaki/nasu-kyouiku01.html>

毎月第3日曜日は「家庭の日」

「那須地区ふれあい学習ネットワーク」特集

1月23日（金）に那須塩原市三島ホール・公民館を会場に「那須地区ふれあい学習ネットワーク」を開催しました。当日は、那須地区の小・中学校、高等学校の教職員やPTA役員、地域活動実践者等を中心に、157名の御参加をいただきました。

今年度は「今度、学校で〇〇するってよ！～本気で取り組む連携のカタチ～」をテーマといたしました。今回は学校・家庭・地域の連携についてじっくり本音で考えていただくため、例年よりも分科会の時間を長く設定をし、寸劇による問題提起・分科会の2部構成で実施しました。

まず、寸劇による問題提起では、学校・家庭・地域それぞれの地域連携に関する意識や現状を紹介しました。

寸劇では、那須地区ふれあい学習推進委員がそれぞれの役を演技しました。配役が決定すると、限られた時間の中で集中して各自で演技の練習や衣装・小道具の準備を進め、舞台ではその役になりきり、アドリブを入れながら!?それぞれに味のある演技を見せてくださいました。

参加者からも、「楽しく分かりやすい問題提起だった。」「寸劇の問題提起は講話型より効果的である。」など、大変好評でした。

続いての分科会は、3会場に分かれて行いました。できるだけ具体的な話合いをして、実際に行動に移せるように、近隣の学区ごとにグループを編成しました。

寸劇の感想や各学校での地域連携の現状を話し合った上で、グループごとに「今度、学校で〇〇するってよ！」の「〇〇」に連携したい行事や活動の名前を入れ、具体的な連携方法を考えました。限られた時間ではありましたが、各グループで熱心な話合いが行われました。



分科会の様子



寸劇の様子（家庭の場面）

「同じ地域の方々と意見交換ができてとてもよかった。」「地域ごとの特色や現状が分かり勉強になった。」「本音で充実した話合いができた。」などの御意見や御感想をいただき、分科会も有意義な時間となりました。

今回新たに気付いたことや再認識できたことなどがそれぞれの立場で実践されて、学校の先生と保護者や地域の方同士が顔見知りになり、地域の子どものために連携・協力したりする第一歩となれば、うれしく思います。